

わかち合い：ミサをみつめなおそう

研修会テーマ 『ミサをみつめなおそう』

事前準備

参加者を、司会進行役を含めて10人程度のグループに分ける
各グループの分かち合いの進行は、司会進行役が進めてゆく

初めのあいさつ

おはようございます。(こんにちは) …。

毎年2月11日には、横浜教区の皆さんが共に集まり、顔と顔を合わせて研修会をしてきました。
今年の第41回の典礼研修会は新型コロナウイルス感染防止のために、昨年と同様各共同体が
YouTube 配信や DVD で講話動画を見て、さらにお互いに分かち合いのひと時を持つことになりました。

今年の研修会では講話1では岡野神父様から、また講話2では宮内神父様からの2つの講話動画をみました。この講話をもとに分かち合いをしましょう。

心を静める

初めに、心を鎮めるために、(2分)ほど、ご自分の呼吸に意識を集中します。

姿勢を正しくして、足の裏はしっかりと床に着け、顔は正面に向け、肩の力を抜き、手のひらを上に
向け膝の上に置き、目を軽く閉じましょう。

ご自分の呼吸、吸う息、吐く息に意識を集中しましょう。呼吸は不自然にコントロールしないで、普
段のままに自然な呼吸を続けてください。(2分～5分経過したら)

静かに目を開いてください。(メンバーの状況を見て時間の調整をする)

初めの祈り

† 父なる神様、あなたはいつもわたしたち一人一人を大切にしてくださっています。

今日、わたしたちは、(新型コロナウイルスによる自粛生活の中で、) あなたがわたしたちに語り掛けて
くださった言葉や気づきを、共同体の皆さんとお互いに語り合い、聴き合うために集まりました。
わたしたちがあなたからいただいた言葉や気づきなどを、お互いに分かち合えるよう、聖霊を送り、
照らし、導いてください。 わたしたちの主イエス・キリストのみなによって。 アーメン

司会進行役用

これから分かち合いを始めます。

分かち合いとは、今の正直な気持ち、感情を言い表し、ただひたすら心を傾けて聴き合います。

「聴き合う」とはそれぞれが感じたことや体験したことを贈り物として受け入れ味わい、肯定も否定もせず、また解決も試みません。

分かち合われたことは自分の心におさめ、内容はその時、その場限りのもので、他の人に決して話しません。

分かち合いのヒントとして下記の4つをあげました。参考になさってください。

Q1, 「典礼憲章」の特徴の一つとして典礼への「十全的、意識的、行動的参加」があります。実行のためにはどのような工夫ができるかを分かち合いましょう。(典礼憲章14)

Q2, ミサは共同体として行う教会の祭儀です。

会衆の応唱・ミサ賛歌、動作・姿勢、沈黙による参加など、共同体が祈り、所作などで一致ができることが望まれますが、現状はいかがですか。(典礼憲章30)

Q3, 司式者の「主はみなさんとともに。」に対して会衆が「またあなたとともに。」と応答する時、なにを感じましたか。

Q4, 新しい「ミサの式次第」では式文の口語体化、賛歌・奉献文などが変更されました。変更に対する感想を分かち合いましょう。

終わりの祈り

司教協議会から出された「ともに喜びをもって福音を伝えるための祈り」を一緒に唱えて、集いを終了しましょう。

✠ 喜びの源である神よ、

あなたは御子キリストを遣わし、その受難と復活を通して、救いに導く喜びの福音をこの世にもたらしてくださいました。

また、あなたは、キリストの後に従う働き手を通して、キリストを信じる人々の喜びを支えてくださいました。さまざまな困難に直面している現代社会の中で、人々の救いに奉仕する教会を顧みてください。キリストの救いの喜びを 新たな熱意、手段、表現をもって、伝えることができるよう、わたしたちを聖霊によって強めてください。わたしたちの主イエス・キリストによって、アーメン。

.....



あなたは、なぜミサに参加するのですか？

それを想うと、どんな感じですか？

心に感じている思いを書き出してみましょう

A large, empty rounded rectangular box with a blue border, intended for writing answers to the questions above.

